

自然にやさしい
DAIE

合併処理装置

ダイエー浄化槽



大栄産業株式会社

合併処理装置のラインナップ

掲載ページ	告示区分	国土交通大臣 認定値 (mg/L)	型式名	処理方式	処理対象人員(人)							
					51	100	200	300	400	500	1000	2000
P2	コンパクト タイプ※1	BOD20 SS20	ダイエー 浄化槽 FCW型	固液分離型 流量調整付 担体流動生物ろ過 循環方式	[Green bar from 51 to 1000]							
P3		BOD20 COD30 SS20	ダイエー 浄化槽 FCI型	流量調整 担体流動生物 ろ過方式	[Green bar from 51 to 500]							
P4		BOD20 COD30 SS20	ダイエー 浄化槽 FCI-L型	流量調整 担体流動生物 ろ過方式	[Green bar from 300 to 2000]							
P5		BOD20 COD30 SS20 n-hex20	ダイエー 浄化槽 FCA-J1型	固液分離 担体流動生物ろ過 循環方式	[Green bar from 51 to 51]							
		BOD20 COD30 SS20 n-hex20	ダイエー 浄化槽 FCA-A型	固液分離 担体流動生物ろ過 循環方式	[Green bar from 51 to 1000]							
P6	第6	BOD20	ダイエー 浄化槽 FCT型	沈殿分離接触 ばっ気方式	[Green bar from 51 to 500]							
	第6	BOD20	ダイエー 浄化槽 FCR型	流量調整接触 ばっ気方式	[Green bar from 100 to 500]							
P7	高度処理 タイプ※1	BOD10 COD10 T-N10 T-P 1	ダイエー 浄化槽 FM型	凝集剤添加型 膜分離活性 汚泥方式	[Green bar from 51 to 1000, Dark Green bar from 1000 to 2000]							

※1 建築基準法施行令第35条第1項認定

ダイエー浄化槽 FCW型

A3型ニューラインナップ

処理方式：固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式

■特長

1. 施工性向上

流入管底がGL-1050まで原水ポンプ槽なしで対応可能 ※1
 ※1 A3型のみ(標準設計 168人まで) B型~G型はGL-600

2. 省スペース

省スペースで施工性が向上 (185人【37m³/日】まで1本槽)
 <設計条件：流入BOD200mg/L、日平均汚水量200L/人・日>

3. 省エネ仕様

大型間欠定量移送装置の使用により機器類を削減し省エネ化

4. 容易な維持管理

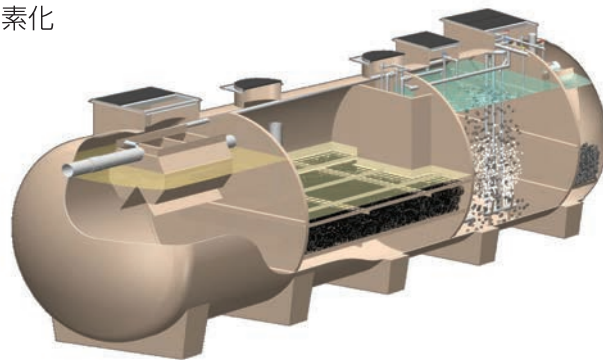
固液分離方式と少ない機器で維持管理を簡素化

A3型のみ軽くて作業性の良いFRP角フタ(T-6用)オプション追加

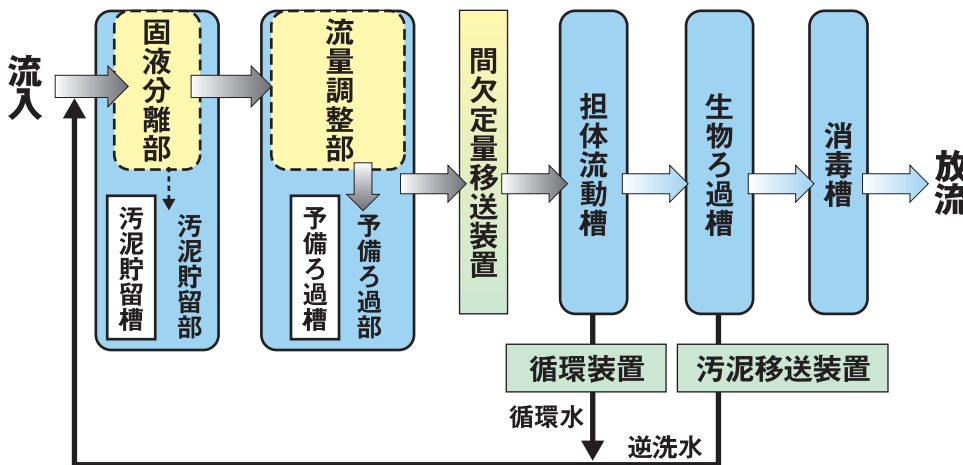
仕様

- ◎処理対象人員 (51~1500人)
- ◎処理水量 (10.2~140m³/日)
- ◎設計条件

項目	流入水	放流水	
		日本建築センター性能評価値	国土交通大臣認定値
BOD	50~600mg/L	20mg/L以下	20mg/L以下
SS	250mg/L以下	15mg/L以下	20mg/L以下
n-hex	25mg/L以下	3mg/L以下	—



■処理フロー



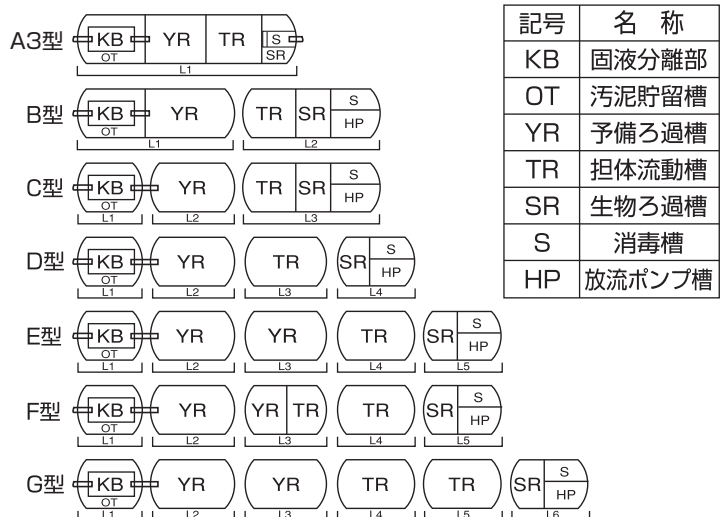
- ※ 原水ポンプ槽、放流ポンプ槽(オプション) が必要となる場合があります。
- ※ 間欠定量移送装置の代わりに電動ポンプ・計量調整装置を用いる場合があります。

■代表人槽寸法表 (流入管底GL-600の場合)

対応汚水量 (m ³ /日)※2	型	L1 [mm]	L2 [mm]	L3 [mm]	L4 [mm]	L5 [mm]	L6 [mm]
10.2 (51人)	A3	3,750	—	—	—	—	—
37.0 (185人)		10,650	—	—	—	—	—
10.2 (51人)	B	3,120	3,480	—	—	—	—
53.0 (265人)		10,650	6,600	—	—	—	—
27.0 (135人)	C	2,360	4,060	4,420	—	—	—
90.0 (450人)		7,050	10,660	10,300	—	—	—
27.0 (135人)	D	2,360	4,060	2,400	2,700	—	—
90.0 (450人)		7,050	10,660	7,170	3,450	—	—
33.0 (165人)	E	2,810	2,380	2,640	2,850	2,700	—
136 (680人)		10,480	7,840	7,840	10,650	4,750	—
44.0 (220人)	F	3,630	3,620	3,620	2,580	2,700	—
139 (695人)		10,700	10,540	8,950	7,370	4,850	—
53.0 (265人)	G	4,300	3,040	3,040	2,360	2,350	2,700
139 (695人)		10,700	7,400	7,410	5,610	5,610	4,850

※設計条件 (日平均汚水量：200L/人・日、流入水BOD：200mg/L) の場合。(上段：最小、下段：最大)

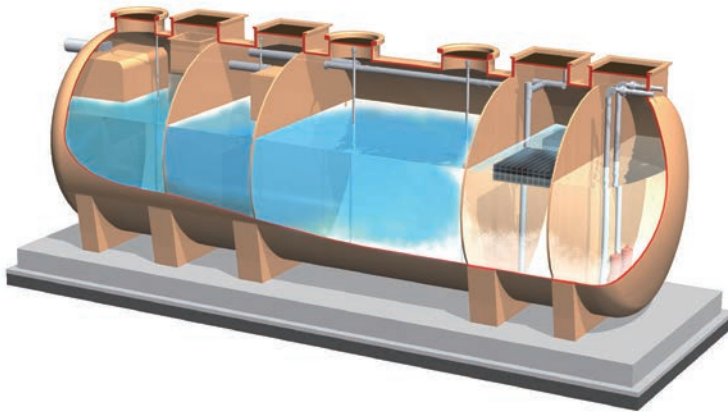
※2 流入管底GL-1050 (高上げ300H付) の場合





ダイエー浄化槽 FCI型

処理方式：流量調整担体流動生物ろ過方式



仕様

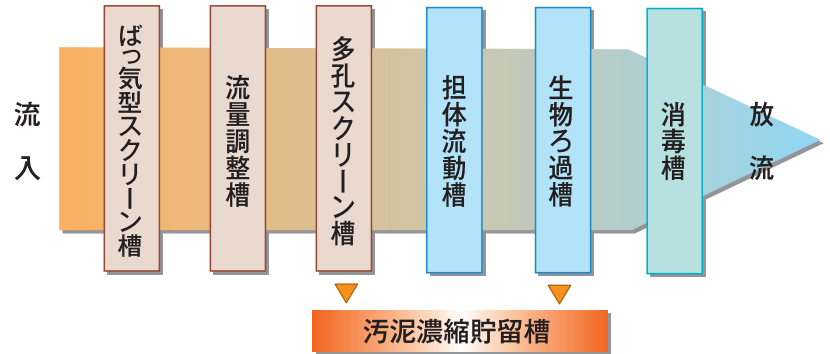
- ◎処理対象人員 (51~500人)
- ◎処理水量 (2.55~100m³/日)
- ◎設計条件

項目	流入水	放流水	
		日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	50~590mg/L	15mg/L	20mg/L
COD	—	30mg/L	30mg/L
SS	—	15mg/L	20mg/L

多孔スクリーン槽の採用 (2012年特許取得)

- ◆小さい容量で汚水中の夾雑物を除去
- ◆モーター等の動力は不要
- ◆スクリーンには耐久性の高いステンレスを採用
- ◆消耗品が無くメンテナンスは簡単
- ◆ばっ気と担体の洗浄効果により目詰まりを防止

■処理フロー



施工性にこだわりました

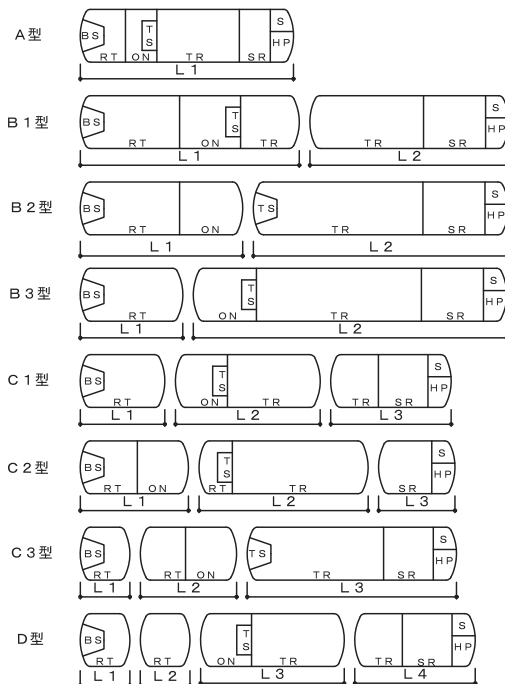
- ◆1本槽278人【55.6m³/日】まで対応可能 (共同住宅標準設計)
- ◆流入管底 GL-1600まで原水ポンプ槽設置不要 (かさ上げ300mm含む)
- ◆流量調整槽を従来品よりコンパクトに設計

※ 汚泥引抜きは負荷・貯留状況、搬出計画に合わせて行います。
 ※ 詳しくは弊社までお問い合わせ下さい。

◆ 代表人槽寸法表

設計条件 (日平均汚水量：200L/人・日、流入水BOD：200mg/L、排水時間：12hrの場合)

汚水量 (m ³ /日)	型	L1 [mm]	L2 [mm]	L3 [mm]	L4 [mm]
10.2(51人)	A	5,380	—	—	—
55.6(278人)		10,720	—	—	—
10.2(51人)	B1	4,060	3,080	—	—
100(500人)		9,440	9,190	—	—
10.2(51人)	B2	3,270	3,080	—	—
89.0(445人)		5,950	10,720	—	—
10.2(51人)	B3	2,470	4,150	—	—
68.2(341人)		2,720	10,710	—	—
10.2(51人)	C1	2,470	2,830	3,080	—
100(500人)		3,380	8,930	6,610	—
10.2(51人)	C2	3,270	3,260	2,350	—
97.0(485人)		5,520	10,720	3,910	—
10.2(51人)	C3	2,470	3,270	3,080	—
89.0(445人)		2,470	5,260	10,720	—
10.2(51人)	D	2,470	2,350	2,830	3,080
100(500人)		2,470	2,720	8,930	6,610



※ (略記号) BS：ばっ気型スクリーン槽、RT：流量調整槽、ON：汚泥濃縮貯留槽、TS：多孔スクリーン槽、TR：担体流動槽、SR：生物ろ過槽、S：消毒槽、HP：放流ポンプ槽

ダイエー浄化槽 FCI-L型

処理方式：流量調整担体流動生物ろ過方式

従来品と比べて少ない設置面積

FCW型設置面積 103.39m² → FCI-L型設置面積 68.915m²

設置面積を67%に削減

※参考例：120m³/日、住宅用途600人槽

原水ポンプ槽無しで流入管底GL-1600mmまで対応

◆GL-600mm～1600mmまで対応可能

低負荷時に対応可能な並列処理



☆多孔スクリーン槽A/★多孔スクリーン槽B

A、B両系統で処理を行う。

通常処理状態：並列処理



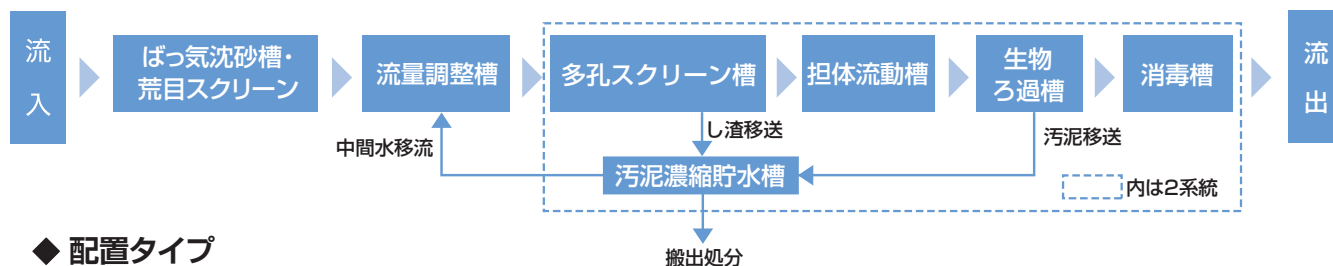
☆多孔スクリーン槽A/★多孔スクリーン槽B

参考：B系統の移送と送気を停止し、A系統のみで処理を行う。

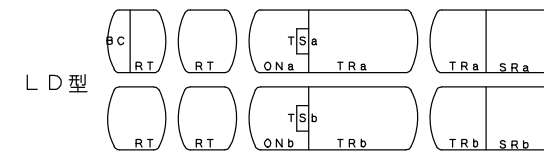
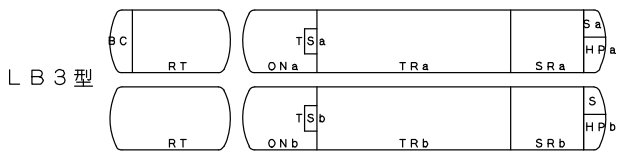
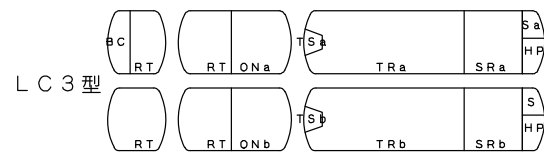
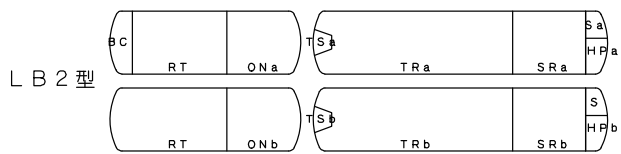
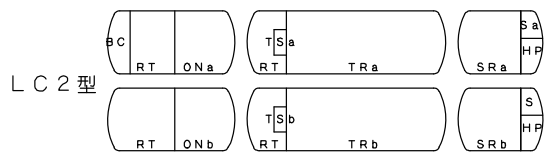
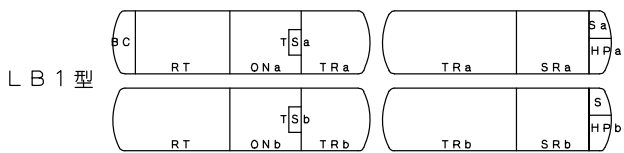
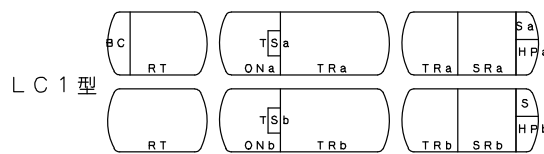
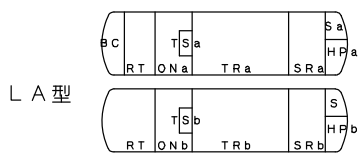
低負荷処理状態：片系列処理

※実流入水量が設計流入水量の40%以下の場合に対応可能

処理フロー



◆ 配置タイプ



※ (略記号) BC: ばっ気沈砂槽、RT: 流量調整槽、TSa・TSb: 多孔スクリーン槽、TRa・TRb: 担体流動槽、SRa・SRb: 生物ろ過槽、S・Sa・Sb: 消毒槽、HP・HPa・HPb: 放流ポンプ槽 (放流槽)、ONa・ONb: 汚泥濃縮貯留槽



ダイエー浄化槽 FCA-J1型

処理方式：固液分離担体流動生物ろ過循環方式



■代表仕様例

名称・記号\人槽	51	60	70
寸法(mm)	全長 L1	4,765	
	全長 L2	5,485	
	全幅 W	2,200	
	全高 H	2,310	
	流入管底 h1	600	
	放流管底 h2	760	
	放流管底 h3	325	
	流入管・放流管径	φ150	
	汚泥貯留槽	4.458	
	担体流動槽第1室	2.591	
容量(m ³)	担体流動槽第2室	4.045	
	生物ろ過槽	1.767	
	消毒槽	0.183	
	総容量	13.044	
	放流ポンプ槽	0.181	

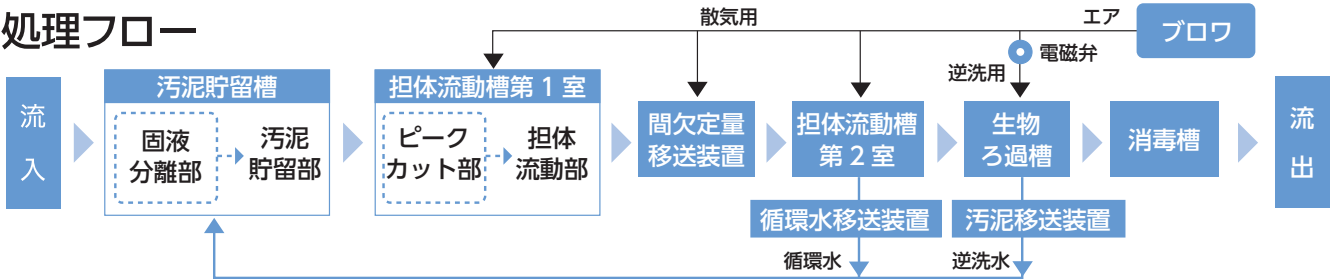
仕様

- ◎処理対象人員 (51~70人)
- ◎処理水量 (2.55~14m³/日)
- ◎設計条件

項目	流入水	放流水	
		日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	200mg/L	20mg/L	20mg/L
COD	100mg/L	30mg/L	30mg/L
SS	160mg/L	20mg/L	20mg/L
n-hex	—	20mg/L	20mg/L

※流入水は、標準水質とし、尿尿およびこれと併せた雑排水(工場排水、雨水、その他の特殊な排水を除く)とする。なお、表中の数値は標準であり、用途に応じ幅を持たせて設計可能

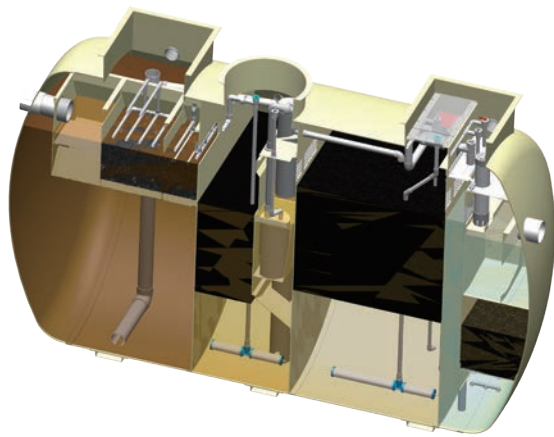
■処理フロー



※清掃は3ヶ月に1回以上必要となります。

ダイエー浄化槽 FCA-A型

処理方式：固液分離担体流動生物ろ過循環方式



■代表仕様例

H:標準全高(mm)	2,770					
W:全幅(mm)	2,500					
h1:流入管底(mm)	GL-750					
h2:放流管底(mm)	GL-960					
流入管・放流管径	φ150					
人槽	51	60	70	80	90	100
L:全長(mm)	3,340	3,520	3,800	4,070	4,350	4,910
人槽	110	120	130	140	150	160
L:全長(mm)	5,300	5,670	6,250	6,630	7,030	7,600
人槽	170	180	190	200	210	220
L:全長(mm)	7,980	8,370	8,750	9,330	9,710	10,100

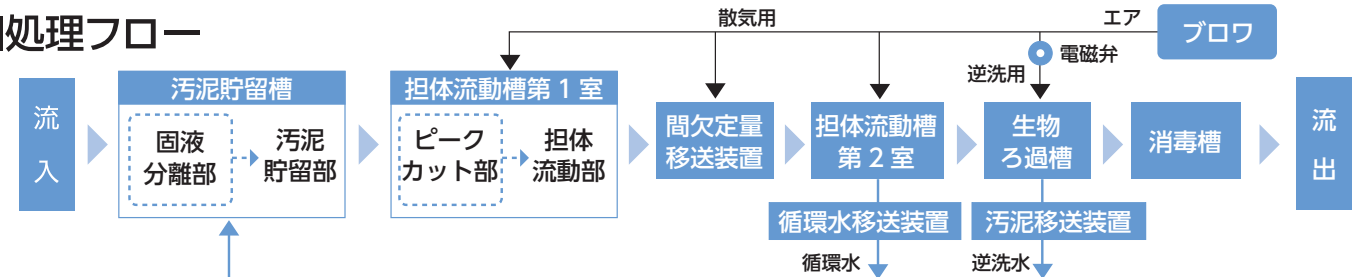
仕様

- ◎処理対象人員 (51~910人)
- ◎処理水量 (2.55~45.5m³/日)
- ◎設計条件

項目	流入水	放流水	
		日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	200mg/L	20mg/L	20mg/L
COD	100mg/L	30mg/L	30mg/L
SS	160mg/L	20mg/L	20mg/L
n-hex	—	20mg/L	20mg/L

※流入水は、標準水質とし、尿尿およびこれと併せた雑排水(工場排水、雨水、その他の特殊な排水を除く)とする。なお、表中の数値は標準であり、用途に応じ幅を持たせて設計可能

■処理フロー

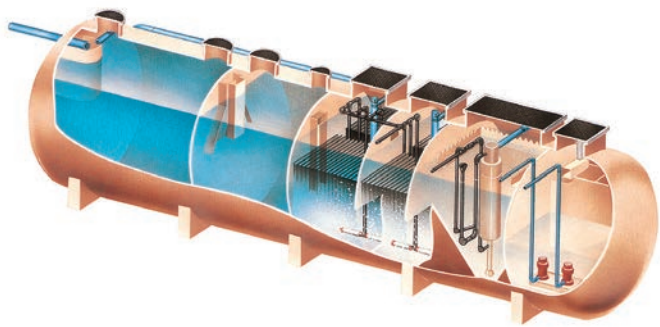


※清掃は3ヶ月に1回以上必要となります。



ダイエー浄化槽 FCT型

処理方式：沈殿分離接触ばっ気方式

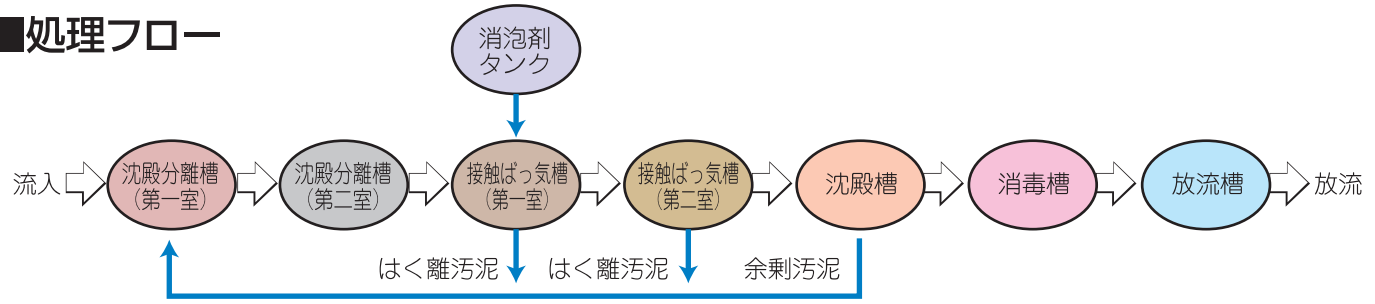


仕様

- 告示（第6第二号）
- 処理対象人員（51～500人）
- 処理水量（2.55～39m³/日）
- 設計条件

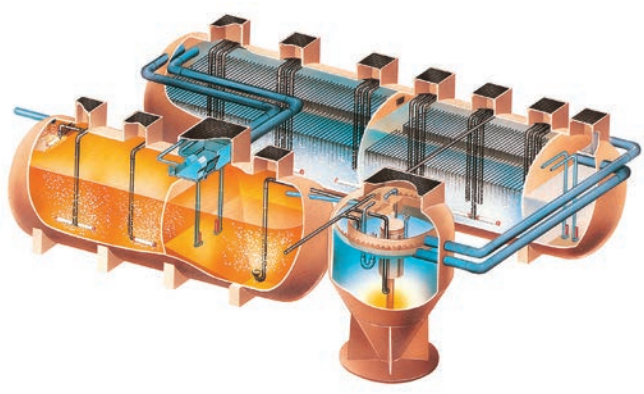
項目	流入水	放流水
		国土交通大臣認定値
BOD	200～450mg/L	20mg/L

■処理フロー



ダイエー浄化槽 FCR型

処理方式：流量調整接触ばっ気方式

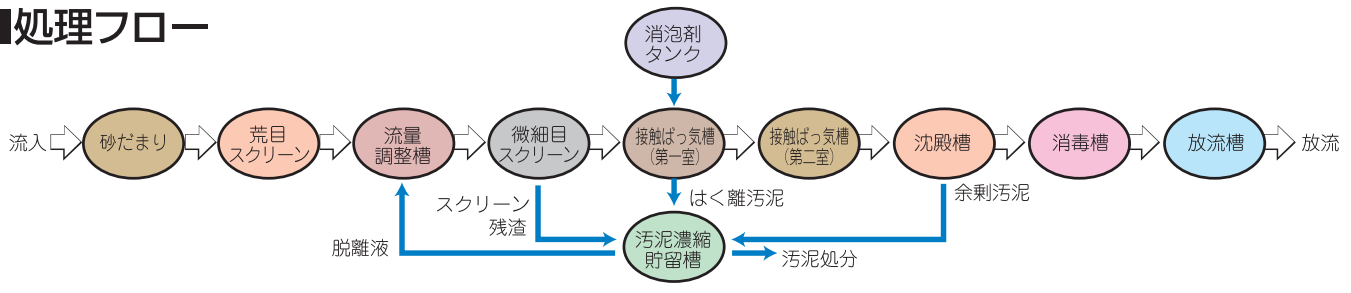


仕様

- 告示（第6第二号）
- 処理対象人員（101～500人）
- 処理水量（5.05～100m³/日）
- 設計条件

項目	流入水	放流水
		国土交通大臣認定値
BOD	200～450mg/L	20mg/L

■処理フロー



型式名について

(例) ダイエー浄化槽 FC T - 200 C 型

1) ブランド名	2) 告知区分 第6第二号…FC	3) 処理方式 接触ばっ気方式 (沈殿分離槽)…T (流量調整槽)…R	4) 処理対象人員	5) 槽の配置パターン
----------	---------------------	--	-----------	-------------



ダイエー浄化槽 FM型

処理方式：凝集剤添加型膜分離活性汚泥方式

■特長

1. 安定した高性能処理

膜分離活性汚泥法と、凝集剤の添加を行うため高い処理性能を実現できます。また、処理性能は、設備の稼動開始日より確保され、かつ、活性汚泥の性状に左右されず安定しています。

2. 容易な維持管理

高度な管理技術は不要となります。また、活性汚泥濃度が高いため発泡が抑えられます。

3. 省スペース（コンパクト）

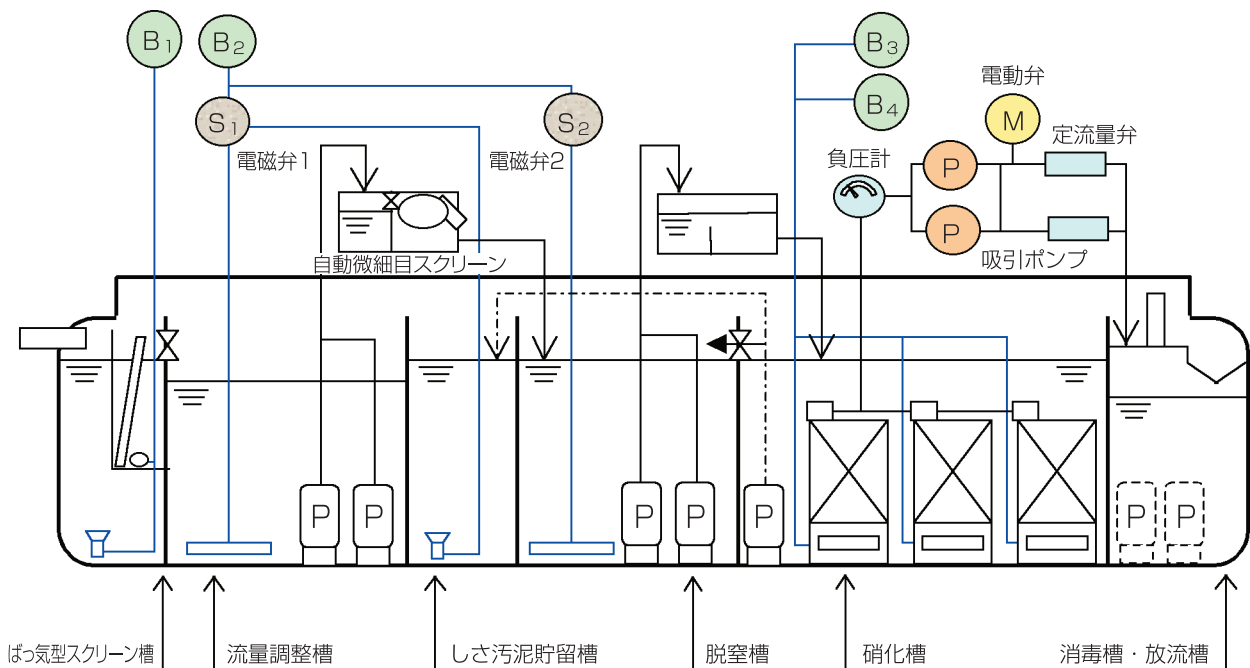
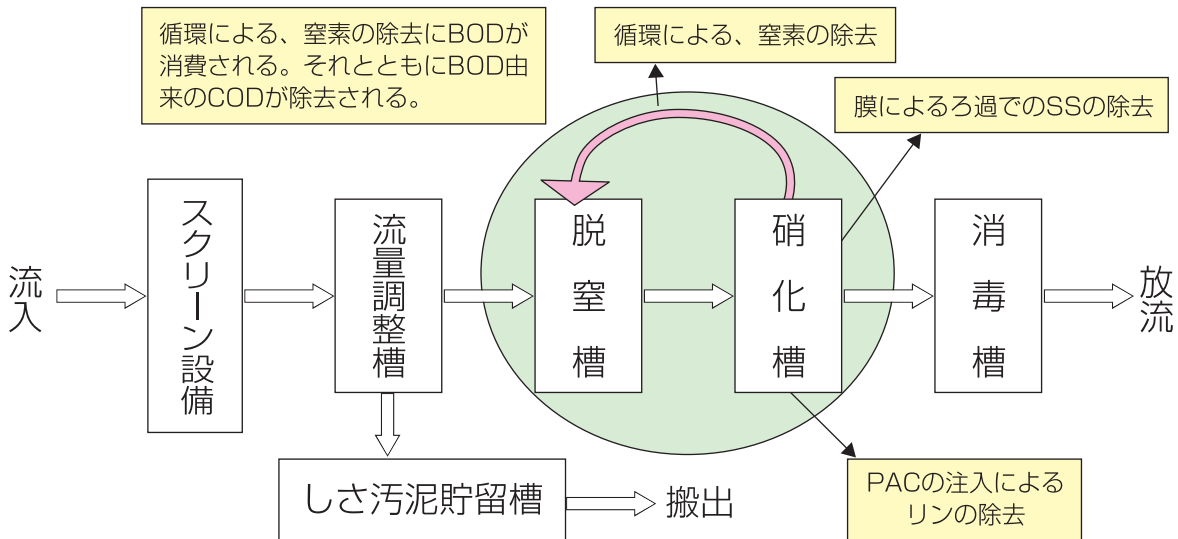
沈殿槽・汚泥濃縮貯留槽が不要となるために、第6第二号（流調タイプ）の75%程度のスペースで設置可能。

仕様

- ◎処理対象人員（51～1000人）
- ◎処理水量（2.5～190m³/日）
- ◎設計条件

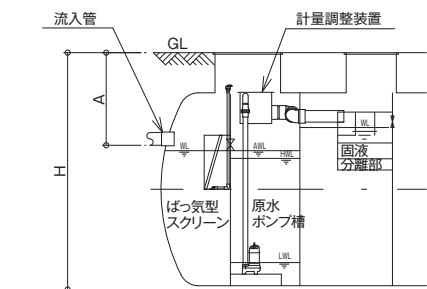
項目	流入水	放流水	
		日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	100～450mg/L	5mg/L	10mg/L
COD	100～225mg/L	10mg/L	10mg/L
SS	250mg/L	5mg/L	—
n-hex	—	5mg/L	—
T-N	40～70mg/L	10mg/L	10mg/L
T-P	5mg/L	0.5mg/L	1mg/L

■処理フロー

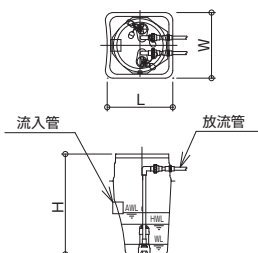




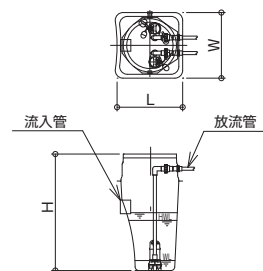
FCW型オプション



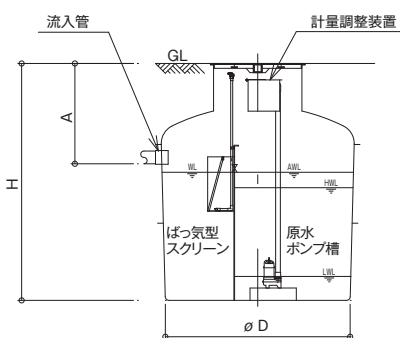
内蔵原水ポンプ槽



放流ポンプ槽 (TII型)



放流ポンプ槽 (TIII型)

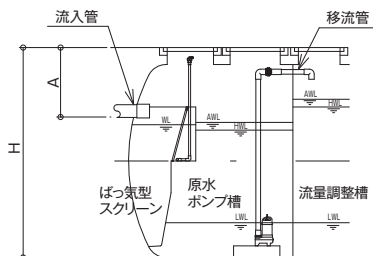


縦置原水ポンプ槽

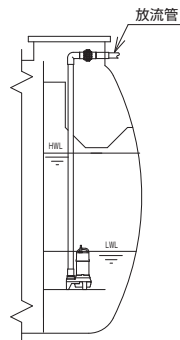
単位：[mm]

オプション名	A	φ D (内径)	H	L	W
内蔵原水ポンプ槽	600~1650	-	2770~3070	-	-
縦置原水ポンプ槽	900~3350	φ2000、2500	2770~4770	-	-
放流ポンプ槽 (TII)	-	-	1300~1600	850	850
放流ポンプ槽 (TIII)	-	-	1510~1810	850	850

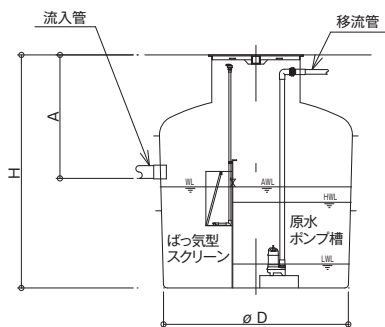
FCI型オプション



内蔵原水ポンプ槽



内蔵放流ポンプ槽



縦置原水ポンプ槽

単位：[mm]

オプション名	A	φ D (内径)	H
内蔵原水ポンプ槽	600~1600	-	2770~3070
縦置原水ポンプ槽	900~3350	φ2000、2500	2770~4770
内蔵放流ポンプ槽	-	-	2770~3070

取扱いされます方へ

警告表示

本書で使用しているマークには、以下のような意味があります。



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定されます。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。

留意

特に守っていただきたい留意事項です。

警告 ① 消毒剤による発火・爆発・有害ガス事故防止

① 消毒剤は強力な酸化剤です。消毒剤には、有機系の塩素剤と無機系の塩素剤の2種類があります。これらを一緒に薬剤受け(薬筒)に入れないでください。

留意：有機(イソシアヌル酸)系の塩素剤には、品名：ハイライト、ボンシロール、メルサン、マスター、ペースリッチなどがある。

無機系の塩素剤には、商品名：ハイクロン、トヨクロン、南海クリヤーなどがある。

② 消毒剤の取扱に際しては、目・鼻・皮膚を保護するため、ゴム手袋、防塵マスク、保護メガネなどの保護具を必ず着用してください。

③ 消毒剤を廃棄する場合は、販売店などにお問い合わせください。

発熱・火災の危険がありますので、消毒剤はごみ箱やごみ捨て場に絶対に捨てないでください。

留意：消毒剤の取扱上の詳細な注意事項は、現品の包装材に記載されていますので、お読みください。

これらの注意を怠ると発火・爆発・有毒ガスの生ずるおそれがあり、また、これらにより傷害を生ずるおそれがあります。

警告 ② 感電・発火事故防止

① ブロワのカバー・制御盤の扉は、開けないでください。

② ブロワ・制御盤の近く(約50cm)には、ものを置かないでください。

③ 電源コードの上には、ものを置かないでください。

④ 電源プラグは、ほこりが付着しやすいので、1年に1回以上は清掃してください。

⑤ ブロワ・ポンプ・制御盤などの電気機器が故障した場合は、維持管理者または専門の工事業者に連絡し修理してください。

これらの注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。

警告 ③ 作業中の酸欠などの事故防止

槽内に入る場合は、必ず酸素濃度・硫化水素濃度を測定し、その安全を確かめてください。

また、槽内で作業をするときは必ず強制換気をおこなうこと。

このような注意を怠ると、人身事故(死亡事故)の発生するおそれがあります。

注意 ④ マンホール・点検口等からの転落・傷害事故防止

① マンホール・点検口の蓋は、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは、必ずロックしてください。

② マンホール・点検口の蓋のひび割れ・破損などの異常を発見したら、直ちに取り替えてください。

③ マンホールや角蓋に錆がある時は、除去して、エポタール塗装をしてください。

④ マンホール・点検口の蓋は、子供にさわらせないでください。

これらの注意を怠ると、転落・傷害の生ずるおそれがあります。

注意 ⑤ 荷重による器物破損・傷害事故防止

通常の埋設工事を行った浄化槽の上には、車などの重量物をのせないでください。

車などがのる場合には、特殊工事(①マンホール蓋は、安全荷重を考慮して選定する。②支柱などを補強する。)が必要になりますので、専門の工事業者にご相談ください。

これらの注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。

留意① 浄化槽を設置するに際して

都道府県に登録されている専門の(浄化槽設備士の資格をもつ)工事業者とつぎのような事項について打ち合わせてください。

*浄化槽の機種を選定、処理対象人員(処理水量)、放流先及び放流水質の規制値

*設置場所、特殊工事の有無

*設置届けなど

注意 (1) 特殊工事を必要とする場合

*設置場所を、車庫・駐車場などに使用する場合

*設置場所が、断崖・川べり、交通量の多い道路ばた、軟弱地盤、多雪地帯、近隣の建造物の荷重が影響する場所など

*地下水がでる場所

(2) 浄化槽工事着手の制限について

*型浄化槽は設置届けが受理された日から10日間経過した後、工事に着手してください。(この期間は、受理当日の初日は計算しない)

留意② 浄化槽設置工事は、都道府県に登録されている専門の(浄化槽設備士の資格をもつ)工事業者に依頼してください。

留意③ 浄化槽の維持管理は、都道府県に登録されている「保守点検業者」と契約してください。(保守点検は、浄化槽管理士の資格をもった人が行わなければなりません)

浄化槽の汚泥引き抜きなどの清掃は、市町村長の許可を受けた浄化槽清掃業者に依頼してください。…(有料)回数1年/1回以上

留意④ 浄化槽に入れる消毒剤は、浄化槽を使用開始するまでは開封しないで下さい。これを守らないと、消毒剤から塩素ガスが発生し空気中の水分と反応し、塩酸を生じ、このために金属類を腐食するおそれがあります。

※「取扱説明書」、「施工要領書」、「維持管理要領書」の必要な方は弊社窓口までご連絡ください。ただちにお送りいたします。

人槽の算定基準・早見表

●建築用途別処理対象人員算定基準表(JIS-A-3302・2000)及び汚水量・BOD濃度参考値

類似用途番号	建築用途		処理対象人員(n)		算定単位当たりの汚水量及びBOD濃度参考値	
			算定式	算定単位	合併処理対象	
					汚水量	BOD
1	集公場施設関係	イ 公会堂・集会場・劇場・映画館・演芸場	n = 0.08A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	16 (ℓ/m ² ・日)	150 (mg/ℓ)
		ロ 競輪場・競馬場・競艇場	n = 16C	n: 人員(人) C: 総便器数(個)	2400 (ℓ/個・日)	260 (mg/ℓ)
		ハ 観覧場・体育館	n = 0.065A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	10 (ℓ/m ² ・日)	260 (mg/ℓ)
2	住宅施設関係	イ 住宅	A ≤ 130m ² の場合 n = 5 130m ² < Aの場合 n = 7	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	200 (ℓ/人・日)	200 (mg/ℓ)
		ロ 共同住宅	n = 0.05A	n: 人員(人) ただし、1戸あたりのnが3.5人以下の場合には、1戸あたりのnを3.5人又は2人(1戸が1居室(2)だけで構成されている場合に限る)とし、1戸あたりのnが6人以上の場合には1戸あたりのnを6人とする。 A: 延べ面積(m ²)	10 (ℓ/m ² ・日)	200 (mg/ℓ)
		ハ 下宿・寄宿舎	n = 0.07A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	14 (ℓ/m ² ・日)	140 (mg/ℓ)
		ニ 学校寄宿舎 自衛隊キャンプ宿舎 老人ホーム・養護施設	n = P	n: 人員(人) P: 定員(人)	200 (ℓ/人・日)	200 (mg/ℓ)
		イ サービスエリア	一般部 n = 3.60P 観光部 n = 3.83P 売店なしPA n = 2.55P 売店 一般部 n = 2.66P 観光部 n = 2.81P	n: 人員(人) P: 駐車台数(台)	480 (ℓ/台・日) 510 (ℓ/台・日) 340 (ℓ/台・日) 180 (ℓ/台・日) 190 (ℓ/台・日)	300 (mg/ℓ) 590 (mg/ℓ)

類似用途番号	建築用途		処理対象人員(n)		算定単位当たりの汚水量及びBOD濃度参考値	
			算定式	算定単位	合併処理対象	
					汚水量	BOD
6	娯楽施設関係	イ 玉突き場・卓球場	n = 0.075A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	15 (ℓ/m ² ・日)	150 (mg/ℓ)
		ロ バチンコ店	n = 0.11A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	22 (ℓ/m ² ・日)	150 (mg/ℓ)
		ハ 囲碁クラブ マージャンクラブ	n = 0.15A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	30 (ℓ/m ² ・日)	150 (mg/ℓ)
		ニ ティスコ	n = 0.50A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	100 (ℓ/m ² ・日)	150 (mg/ℓ)
		ホ ゴルフ練習場	n = 0.25S	n: 人員(人) S: 打席数(席)	50 (ℓ/席・日)	150 (mg/ℓ)
		ヘ ボーリング場	n = 2.50L	n: 人員(人) L: レーン数(レーン)	500 (ℓ/レーン・日)	150 (mg/ℓ)
		ト バッティング場	n = 0.20S	n: 人員(人) S: 打席数(席)	40 (ℓ/席・日)	150 (mg/ℓ)
		チ テニス場	ナイター設備を設ける場合 n = 3S ナイター設備を設けない場合 n = 2S	n: 人員(人) S: コート面数(面)	600 (ℓ/面・日) 400 (ℓ/面・日)	150 (mg/ℓ)
		リ 遊園地・海水浴場	n = 16C	n: 人員(人) C: 総便器数(個)	2400 (ℓ/個・日)	260 (mg/ℓ)
		ヌ プール・スケート場	n = $\frac{20C + 120U}{8} \times t$	n: 人員(人) C: 大便器数(個) U: 小便器数(個) t: 単位便器当たり一日平均使用時間(時間) t: 1.0~2.0	-	150 (mg/ℓ)
7	駐車場関係	ル キャンプ場	n = 0.56P	n: 人員(人) P: 収容人員(人)	70 (ℓ/人・日)	320 (mg/ℓ)
		ロ ゴルフ場	n = 21H	n: 人員(人) H: ホール数(ホール)	250 (ℓ/人・日)	130 (mg/ℓ)
		イ サービスエリア	一般部 n = 3.60P 観光部 n = 3.83P 売店なしPA n = 2.55P 売店 一般部 n = 2.66P 観光部 n = 2.81P	n: 人員(人) P: 駐車台数(台)	480 (ℓ/台・日) 510 (ℓ/台・日) 340 (ℓ/台・日) 180 (ℓ/台・日) 190 (ℓ/台・日)	300 (mg/ℓ) 590 (mg/ℓ)
8	学校施設関係	ロ 駐車場・自動車庫	n = $\frac{20C + 120U}{8} \times t$	n: 人員(人) C: 大便器数(個) U: 小便器数(個) t: 単位便器当たり一日平均使用時間(時間) t = 0.4~2.0	-	-
		ハ ガソリンスタンド	n = 20	n: 人員(人) 1営業所当たり	-	-
		イ 保育所・幼稚園 小学校・中学校	n = 0.20P	n: 人員(人) P: 定員(人)	50 (ℓ/人・日)	180 (mg/ℓ)
9	事務所関係	ロ 高等学校・大学・各種学校	n = 0.25P	n: 人員(人) P: 定員(人)	60 (ℓ/人・日)	180 (mg/ℓ)
		ハ 図書館	n = 0.08A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	16 (ℓ/m ² ・日)	150 (mg/ℓ)
		イ 事務所	業務用厨房設備を設ける場合 n = 0.075A 業務用厨房設備を設けない場合 n = 0.06A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	10 (ℓ/m ² ・日) 10 (ℓ/m ² ・日)	200 (mg/ℓ) 200 (mg/ℓ)
10	作業場関係	イ 工場 作業所 研究所 試験所	業務用厨房設備を設ける場合 n = 0.75P 業務用厨房設備を設けない場合 n = 0.30P	n: 人員(人) P: 定員(人)	100 (ℓ/人・日) 60 (ℓ/人・日)	300 (mg/ℓ) 150 (mg/ℓ)
		イ 市	n = 0.02A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	4.2 (ℓ/m ² ・日)	200 (mg/ℓ)
		ロ 公衆浴場	n = 0.17A	n: 人員(人) A: 延べ面積(m ²)	33 (ℓ/m ² ・日)	50 (mg/ℓ)
11	10の用途に属さない施設	ハ 公衆便所	n = 16C	n: 人員(人) C: 総便器数(個)	-	-
		イ 駅・バスターミナル	P < 100,000の場合 n = 0.008P 100,000 ≤ P < 200,000の場合 n = 0.010P 200,000 ≤ Pの場合 n = 0.013P	n: 人員(人) P: 乗降客数(人/日)	-	-

<注> (1) 大便器数、小便器数及び両用便器数を合計した便器数。
 (2) 居室とは、建築基準法による用語の定義でいう居室であって、居住、執務、作業、集会、娯楽その他これらに類する目的のために継続的に使用する室をいう。ただし、共同住宅における台所及び食事室を除く。
 (3) 女子専用便所にあつては、便器数のおおむね1/2を小便器とみなす。

浄化槽の機種および選定基準などについては、地区により行政指導内容が異なる場合がありますので、十分にご注意ください。



DAIE 大栄産業株式会社

本社

〒470-2403 愛知県知多郡美浜町大字北方字西側85-1
☎0569-82-0338 FAX0569-82-2114

北海道営業所

〒065-0022 北海道札幌市東区北22 条東3丁目1-35 ハイテクビル・さっぽろ
☎011-748-3200 FAX011-748-3221

仙台営業所

〒983-0038 宮城県仙台市宮城野区新田1-3-52
☎022-239-9001 FAX022-239-9002

北関東営業所

〒346-0014 埼玉県久喜市吉羽2丁目6-9 宇津城ビル3F
☎0480-21-8231 FAX0480-21-8337

東京支店・東京営業所

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目25-2 ル・グラシエルBLDG.60
☎03-5401-2151 FAX03-5401-2152

千葉出張所

〒299-3217 千葉県大網白里市木崎1-23
☎0475-70-8131 FAX0475-70-8132

静岡営業所

〒417-0801 静岡県富士市大淵2651-1
☎0545-35-5783 FAX0545-35-5784

豊橋出張所

〒441-8122 愛知県豊橋市天伯町六ツ美77-1
☎0532-48-8029 FAX0532-37-7372

大阪営業所

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-1-1 新大阪阪急ビル3F
☎06-7668-8384 FAX06-7668-8301

広島営業所

〒733-0003 広島県広島市西区三篠町3丁目2-2 A1ビル1F
☎082-237-8311 FAX082-237-8312

福岡営業所

〒814-0153 福岡県福岡市城南区樋井川13-19-1
☎092-552-4904 FAX092-511-8122

大分出張所

〒879-7152 大分県豊後大野市三重町百枝1247-1
☎0974-22-8218 FAX0974-22-8489

ISO14001認証取得 / ISO9001認証取得



このカタログは適切に管理された FSC® 認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

維持管理ご相談下さい!

浄化槽には維持管理が法律により義務付けられています。ダイエーは維持管理を信頼のネットワークでご提供いたします。お気軽に最寄の左記営業所へお問い合わせください。



URL <http://www.daie-industry.co.jp>
E-mail honsya@daie-industry.co.jp

商品やサービスに対するご意見、ご要望をお聞かせください。「取扱説明書」「施工要領書」「維持管理要領書」の必要な方は弊社窓口までご連絡またはホームページまでアクセスください。

取扱店